

A group of children are seated at their desks in a classroom, eating lunch. Many of them are holding up their hands in a peace sign gesture. The classroom has a green chalkboard in the background with various papers and posters pinned to it. Large windows on the right side of the room provide natural light. The children are wearing casual clothing, and some are holding bowls of food. The overall atmosphere is cheerful and lively.

いすみ市の有機農業推進について ～水稻及び園芸作物の有機栽培～

千葉県いすみ市農林課
主査 鮫田 晋

■いすみ市の農業の概要

基礎データ

位置	北緯35度 東経140度			
面積	157.5km ²	人口	2010 40,962	2018 → 38,787
合計特殊 出生率	2010 1.36% → 2016 1.30% (1.39%) (1.44%)	高齢化率	2010 33.2% → 2016 37.5% (23.0%) (27.3%)	

農業データ 2015年農林業センサス

田耕地面積	2,940ha	畑耕地面積	582ha	林野面積	6,659ha
農業産出額 米	208千万円	農業産出額 野菜	55千万円	農業産出額 果実	52千万円
経営体数・ 作付面積 水稻	961経営体 1,728ha	経営体数・ 作付面積 野菜	164経営体 25ha	経営体数・ 作付面積 日本なし	66経営体 37ha

夷隅川に由来する肥沃な土壌と豊富な水資源を活かした良質米づくりが主。
温暖な気候を活かした小規模点在型の野菜づくりと果樹(なし)栽培。

水稻の有機栽培推進 について

■学校給食米の全てを有機米に

給食、全て有機米に 全国初、いすみ市が実現 | 千葉日報オンライン

給食、全て有機米に 全国初、いすみ市が実現

2017年10月27日 20:40

いすみ市は27日、全13市立小中学校の給食で使用するご飯について、全量が無農薬無化学肥料の有機米に改めた。今後、継続して実施する。市は環境保全型農業を推進し、給食のご飯は有機米で賄うとの目標を掲げていた。こうした試みは全国初という。

市は2013年、「自然と共生する里づくり」の一環で有機米の生産を働き掛けた。当初参加した農家は3人、面積は約0・2ヘクタール、収穫量は約0・24トンだったが、毎年、作付面積を増やしていき、今年はそれぞれ23人、約14ヘクタール、約50トンと拡大。全小中学校の計約2300人分の使用量となる約42トン賄うことが可能になった。

市は15年、農家の所得向上を狙い、有機米を「いすみっこ」と名付けてブランド化。食の安全と環境に配慮し、学校給食でも一部の日で提供していた。

この日は有機米の全量使用開始を記念し、地元の古屋谷営農組合（岩瀬幸雄組合長）で有機米作りを体験していた夷隅小で、生産者らと一緒に食事をするイベントが開かれた。児童は艶やかな白米を「いただきます」と頬張った。

岩瀬組合長は「稲の管理が大変だが、安心して安全なご飯を小中学生に食べてもらえてうれしい」と顔をほころばせた。太田洋市長は「自然に近い食べ物で生活することが大事。5年かけて提供することができた。生産者が丹精込めて作った素晴らしい米」と呼び掛けた。

菰田夢叶さん（11）は「もちもちしている」と満足顔。祖父母が農業をしている藤平凌君（11）も「毎日の給食が楽しみ。農家を継いで、おいしい米をみんなに食べてもらいたい」と声を弾ませていた。



有機米のご飯を頬張る児童＝27日、いすみ市の市立夷隅小学校

■世界の給食、オーガニックへ 公的調達による支援

フランス



フランスは2022年までに、給食食材のオーガニック(有機)比率を50パーセントにすることを法律で定める。現在、フランスの学校給食のオーガニック率は、全国平均3パーセント。南仏のムアン・サルトゥー市ではオーガニック率100パーセントを実現している。

サステナブル・ブランド ジャパン2017.12.04より抜粋

イタリア



イタリアの有機農産物卸売業者の卸先内訳にあるように、学校給食向けは売上げの26%を占めており、重要な販売先の一つとなっている。学校給食への取り組みは州によって大きな違いがあり、導入が最も盛んなエミリア・ロマーニャ州は、州法によって2歳までの保育園児の給食は100%有機にすると規定している。

「イタリアの有機農産物の現状調査」JETRO2009年3月より抜粋

韓国



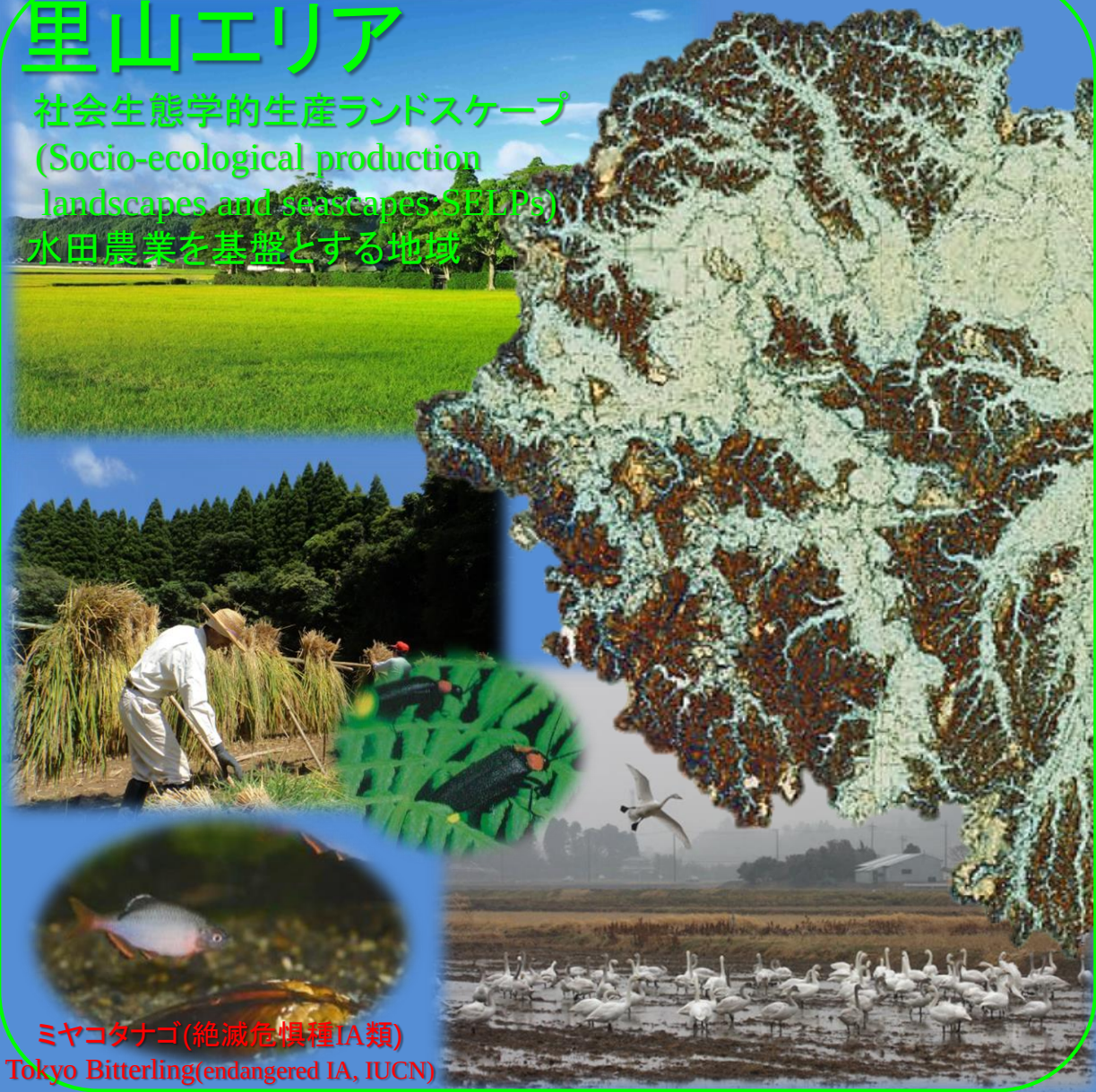
2021年からソウルのすべての小・中・高校で「オーガニック無償給食」が全面施行される。市はまず来年から高等学校のオーガニック食材使用の割合も現在の30%からオーガニック学校給食水準である70%まで引き上げる。市は、オーガニック無償給食がすべての小・中・高1302校に拡大施行されれば、人件費と管理費を含めて年間約7000億ウォン(約700億円)の予算がかかると見ている。

ハンギョレ新聞2018.10.29より抜粋

■ 夷隅川でつながる里山・里海地帯

里山エリア

社会生態学的生産ランドスケープ
(Socio-ecological production
landscapes and seascapes: SELPs)
水田農業を基盤とする地域



ミヤコタナゴ(絶滅危惧種IA類)

Tokyo Bitterling(endangered IA, IUCN)

里海エリア

社会生態学的生産シースケープ
(Socio-ecological production
landscapes and seascapes: SELPs)
沿岸漁業を基盤とする地域

